

**「文化３館再配置事業実施方針（案）」に係る
パブリックコメントの実施結果について**

このたび、お寄せいただきましたご意見と、それに対する伊丹市の考え方を以下のとおりまとめましたので公表します。

項 目	内 容
1 案件名	文化３館再配置事業実施方針（案）伊丹市立演劇ホールを活用と伊丹市立文化会館及び伊丹市立音楽ホールの大規模改修
2 募集期間	令和６年（２０２４年）１１月１５日（金）～１２月１４日（土）【３０日間】
3 提出者・件数	１３名（意見数 ４１件）
4 提出方法の内訳	・郵便 ０名 ・ＦＡＸ １名 ・電子申請 １１名 ・窓口 １名 - 計 １３名
5 ご意見の概要	別紙のとおり １）演劇ホール跡の活用 ２５件 ２）実施方針案の検討経緯 １０件 ３）今後の演劇事業の展開 ２件 ４）その他 ご意見 ４件 - 計 ４１件
6 ご意見の該当箇所	・実施方針 全体 １件 ・第１章 事業の背景と目的 ０件 ・第２章 現状と課題 ６件 ・第３章 事業の実施方針 ３１件 ・第４章 今後のスケジュール １件 ・その他 ２件 - 計 ４１件
7 市の考え方	・実施方針案に盛り込み済 ２件 ・実施方針案のとおり ２４件 ・その他のご質問への回答 １５件 - 計 ４１件
8 結果公表期間	令和７年（２０２５年）２月１日（土）～３月２日（日）
9 閲覧場所	施設マネジメント課窓口、各支所・分室、消費生活センター（くらしのプラザ）、市民まちづくりプラザ、「ふらっと」人権センター、図書館「ことば蔵」、総務課（行政資料コーナー）、まちづくり推進課窓口、市ホームページ

(別紙)

「文化3館再配置事業実施方針(案)」に対するご意見及びご意見に対する考え方について

1) 演劇ホール跡の活用

	ご意見の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
1	第3章 事業の実施方針	駅前の一等地にある公共施設を民間に委ねることが本当に正解なのか、アイホール消滅が避けられない現状だとしても【公共施設が駅前にある価値】を議論されていたのか。	【実施方針案に盛り込み済み】 演劇ホールを含む文化3館のあり方については、中心市街地という良好な立地条件を有していることを踏まえ、施設を個々の単位ではなくエリアとして捉え、他の施設分類も含めた連携や民間活力の活用など、都市の魅力創出や活性化につながる有効活用について検討を進めてきました。演劇やダンスといった舞台芸術は、場所や形態の自由度が高い文化芸術であること、文化3館における利用者一人あたりコストや稼働率の状況等、これまでの検討結果を踏まえて総合的に判断し、演劇事業の機能を文化会館へ移転することとしました。 従来演劇ホールが位置するJR伊丹駅周辺は、伊丹の玄関口として整備されてきた歴史があり、これまでのまちづくりの考え方や公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、駅前地域のにぎわいの創出や独立採算を条件としたサウンディング型市場調査を実施した結果、飲食や物販等複数の提案があり、民間事業者の事業運営による活用の可能性について検討を進めてきました。演劇ホール跡については、新たな行政施設として活用するのではなく、建物の貸付により財政負担の軽減を図りながら、伊丹の玄関口であるJR伊丹駅周辺の都市の魅力創出や活性化に資する事業運営を民間活力によって行うことが最善であると考えています。
2	第3章 事業の実施方針	8頁 第3章 1 演劇ホールの活用方針について： 私は実施方針の記載内容に賛同いたします。演劇関係の利用者やその団体からすると、既得権を奪うことにはなるが、その代替えの措置を近隣施設できちんと取る方針も示しており、やむを得ないと思います。 当該施設は、公共施設であり、特定団体の意向のみで成り立つものではなく、伊丹市の事情、今後の市の公共施設全体の持続性を維持する観点で考えるべき施設である。 反対意見も多いかもしれないが、市民	【実施方針案に盛り込み済み】 演劇やダンスといった舞台芸術は、場所や形態の自由度が高い文化芸術であること、文化3館における利用者一人あたりコストや稼働率の状況等、これまでの検討結果を踏まえて総合的に判断し、演劇事業の機能を文化会館へ移転することとしました。 従来演劇ホールが位置するJR伊丹駅周辺は、伊丹の玄関口として整備されてきた歴史があり、これまでのまちづくりの考え方や公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、駅前地域のにぎわいの創出や独立採算を条件としたサウンディング型市場調査を実施した結果、飲食や物販等複数の提案があり、民間事業者の事業運営による活用の可能性について検討を進めてきました。演劇ホール跡については、新たな行政施設として活用するのではなく、建

		税を納める者として、この方針を支持します。	物の貸付により財政負担の軽減を図りながら、伊丹の玄関口である JR 伊丹駅周辺の都市の魅力創出や活性化に資する事業運営を民間活力によって行うことが最善であると考えています。ご意見いただきました公共施設マネジメントの観点も踏まえ、再配置事業を進めていきます。
3	第3章 事業の実施方針	『有岡城史跡公園』を活かせる施設。目の前は有岡城。荒木村重についての観光目線でのスペースを設けてみては？（興味がある人は大勢おり、伊丹のどこにもその詳細がある施設が無い）（アリオ 1 階掲示板に少し掲示されており、皆足を止め読んでいる）	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
4	第3章 事業の実施方針	医療施設、薬局は絶対反対。（すでに医療フロア、薬局があり、アリオ名店会近辺は同業を避けて入店している為、反感は避けられない）	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
5	第3章 事業の実施方針	市民が利用出来るスペースや、市民優先のシステムが導入できるサービスを希望。（民間企業に提案して欲しい）伊丹の玄関口にメインに建つ目印のような施設でもあるので市民にも、観光にも向けたスペースを！オープンな施設へ改革をお願いしたい。	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
6	第3章 事業の実施方針	2027 年改修後以降の指定管理について大学のサテライトとして誘致することを考えて頂きたい。 大手前大学がなくなった今、あらためて伊丹（特に中心市街地）に大学生が戻ってくれることは、中心市街地はもとより伊丹市にとっても大きな利益をもたらしてくれるように思います。	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
7	第3章 事業の実施方針	学生の頃、アイホールを活用していました。市外の人とも、観劇の為に訪れることもしました。 なので、舞台ホールじゃなくても、ジャンルを問わない展示ができるスペースがあればいいと思います。 伊丹ミュージアムの催しを見に行くと、たくさんの方が来て賑わっていて、イベント出店のカフェなどもあって素敵な場所だと思います。	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。

		その小規模バージョンが出来たら、芸術文化を残せて、交流する場になったらいいなど。 伊丹ホールがあるという声は分かるんですが、文化に触れる一番最初の身近で、小さい入り口が欲しいんです。 1階の広いスペースにカフェなどが入って、収益を得るのも大事だと思います。	
8	第3章 事業の実施方針	現在カルチャールームを使用して活動しています。なくなると大変困ります。 演劇ホールは有岡地区にある唯一の公共施設です。有岡地区内外から集まるのにとっても便利な場所にあり、数名が集まるのに部屋の広さもちょうどよく、有岡哲学カフェや、有岡歴史企画等、住民の地域活動に気軽に使用させていただいています。また、近くの共同利用施設の集約に伴い、遠くまで行けない高齢者の集まりにも使用させていただき始めたところで、この場がなくなると活動ができなくなります。民間事業者の手に渡ってもなんとか住民の活動の場を残してほしいと担当者にお伝えしたところ、「アリオの集会室を使わせてもらえ」と言われました。アリオの集会室は公共施設ではありませんので、私たちが使わせていただける保証はありません。 演劇ホールの跡地の一部に地域住民が集える場所を作ってもらえませんか。	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
9	第3章 事業の実施方針	災害時に住民が集まる場になりますか。 演劇ホールは前の広場とも合わせ、災害時に住民が集まりやすい空間だと考えています。民間事業者の手に渡った場合でも災害時に住民が集まれる場所になりますでしょうか。	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
10	第3章 事業の実施方針	市民が通いやすい、行きやすい場所にある唯一の施設でした。市民の為の配慮をお願いしたい。貸し会議室の存続を強く希望します。(市民の利用率が高い)	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。また、文化会館の大規模改修では、演劇ホールのカルチャールームに相当する空間を整備する方針としています。

11	第3章 事業の実施方針	2017 年に 50 万円で資産譲渡した野外活動センターのように演劇ホール跡地をエンターテインメント会社に文化芸術性の高い芝居小屋として興行することを条件に譲渡してはどうか。その場合、譲渡先を公募してプロポーザル方式で選定したらどうか。	【実施方針案のとおり】 これまでサウンディング型市場調査への参加を企業に働きかける中で、エンターテインメント業界へも打診を行いましたが、採算が取れる事業提案ができないとの回答を得ています。 演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。
12	第3章 事業の実施方針	観光、インバウンドが非常に弱い伊丹。伊丹の玄関口である場所の公共施設を有効に活用出来ないのではないかと。他県、他国からの来伊の印象価値が低くなることを懸念します。	【実施方針案のとおり】 演劇ホール跡については、利活用の検討にあたり特定用途に限定しておりませんが、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
13	第3章 事業の実施方針	せっかく子どもたちが集まっているので、ユースセンターや子育て支援の窓口になるような施設、子どもや安心して過ごせる場所、大人も子どもも心理的安全性を確保できる場所をつくってほしい。	【実施方針案のとおり】 演劇ホールを含む文化3館のあり方については、中心市街地という良好な立地条件を有していることを踏まえ、施設を個々の単位ではなくエリアとして捉え、他の施設分類も含めた連携や民間活力の活用など、都市の魅力創出や活性化につながる有効活用について検討を進めてきました。演劇ホール跡については、新たな行政施設として活用するのではなく、建物の貸付により財政負担の軽減を図りながら、伊丹の玄関口である JR 伊丹駅周辺の都市の魅力創出や活性化に資する事業運営を民間活力によって行うことが最善であると考えています。 また、社会情勢の変化に伴って生じる諸課題への対応は、既存事業の見直しをはじめ、事業実施の場所を公共施設のみに限ることなく解決することを目指します。
14	第3章 事業の実施方針	これまで公共施設再編により生じた空地は公売しているが、今回は演劇ホール跡をなぜ売却せず、民間貸付により利活用するのか。	【実施方針案のとおり】 これまでに行った複数回のサウンディング型市場調査において建物の購入を含む新規事業の提案はありませんでした。JR 伊丹駅周辺は、市街地再開発事業で整備された施設や城跡広場がある駅西地区と、大規模商業施設が立地する駅東地区との連携により、緑豊かでゆとりのある中心市街地の東の玄関口にふさわしい大規模商業拠点として、都市づくりを進めてきました。 演劇ホールは、建物の貸付により財政負担の軽減を図りながら、これら地区における役割が果たされるよう事業を推進します。

15	第3章 事業の実施方針	8 頁での「他の用途の転用」とはサウンディング型調査での提案に沿うことを示していると思うが、これに沿って事業展開すれば演劇ホールが獲得した年間集客数を上回る利用者数を見込めるのか。また、アイホールのときは朝日新聞などに上演内容が頻繁に紹介され、全国に伊丹市、アイホールの名前が知れ渡っていたが、このサウンディング型調査による事業展開でもそのようなことが期待できるのか。	【実施方針案のとおり】 駅前地域のにぎわいの創出や独立採算を条件としたサウンディング型市場調査では、飲食や物販等複数の提案があり、民間事業者の事業運営による活用の可能性について検討を進めてきました。日常利用される事業に用途転用した場合、駅周辺利用者や駅利用の通勤通学者など、幅広い世代による利用が想定されることから、関係人口の拡大に繋がることを見込んでいます。 民間事業者の新たな事業運営に係る広報活動については、運営者である民間事業者が主体的に取り組むべきものと考えます。
16	第3章 事業の実施方針	アイホールを無くさないでください！ JR 伊丹駅から行きやすく、演劇やコーラスやダンスの発表会など様々なことに使われています。 伊丹市民としてアイホールが無くなるのは寂しいです。 もっと、利用の仕方や利用料金などを分かりやすくすれば利用者が増えると思います。 アイホールでのイベントを増やすなどもいいと思うので今のまま残して置いてください！よろしくお願いします。	【実施方針案のとおり】 演劇ホールについては、明らかになった諸課題に対応すべく、令和 4 年度から経営改善策を講じ、新規の公演プランを設けるなど利用促進に向けた取組を進めてきました。これらの取組により、一人あたりコストや市民利用率については一定改善したものの、利用者数や稼働状況は依然として厳しい状況となっています。これまでの検討結果を踏まえて総合的に判断し、演劇ホールは廃止しますが、文化会館の大規模改修にあわせて演劇ホールのカルチャールームに相当する空間や演劇公演でも活用できる空間等を整備して演劇事業の機能を移転する方針としています。
17	第3章 事業の実施方針	8 頁の「JR伊丹駅周辺における新たな用途として活用することにより、中心市街地エリアへの来街者数の増加による関係人口の拡大が見込まれます。」と記載されているが、民間事業者による独立採算を前提とした事業運営とすることで、関係人口の拡大が見込まれることにつながるという理由にはならないのではないか。	【実施方針案のとおり】 駅前地域のにぎわいの創出や独立採算を条件としたサウンディング型市場調査では、飲食や物販等複数の提案があり、民間事業者の事業運営による活用の可能性について検討を進めてきました。日常利用される事業に用途転用した場合、駅周辺利用者や駅利用の通勤通学者など、幅広い世代による利用が想定されることから、関係人口の拡大に繋がることを見込んでいます。
18	全体	アイホールは残しましょ。 計画は拝見しましたが愚策。	【実施方針案のとおり】 演劇ホールを含む文化3館については、平成28年2月に策定いたしました伊丹市公共施設再配置基本計画に基づき、施設を個々の単位ではなくエリアとして捉え、都市の魅力創出や活性化につながる有効活用について検討を進めてきました。今回の実施方針案は、これまでの検討結果を踏まえて総合的に判断し、策定したものでありますことから、本案の内容に沿って事業を実施していきます。
19	第2章 現状と課題	「今の演劇事業のまま民間事業者が参画するのは困難」との意見があり、その	【その他のご質問への回答】 過去に実施したサウンディング型市場調査では、演劇ホ

		他の意見を伺いたい。今まで演劇ホールを改修してこなかったのが改修して活性化につなげてほしい、という意見など前向きな意見はなかったのか。 そういう意見は尊重しないのか？	ールを改修して活性化につなげる提案や意見は、同様の趣旨も含めてごさいませんでした。その他の意見としては、過去には「市が必要最低限の演劇設備更新を行い、市の運営で演劇を継続する案」などご意見をいただきました。 その後、演劇ホールの事業運営については、令和4年から3年間の継続検討となり、「市民利用率」「指定管理料」「老朽化」という課題に取り組むこととしました。 具体的には、追加の設備投資を一旦凍結するとともに、指定管理事業を見直して貸館中心の運営へ移行し、より一層の利用促進と市民還元を図るための制度改正を行う等の経営改善策を講じました。しかしながら、一人あたりコストや市民利用率については一定改善したものの、利用者数や稼働状況は依然として厳しく、これ以上の改善は見込めないと判断し、演劇事業を移転することとしました。
20	第3章 事業の実施方針	現在、応募が来ている企業から選ぶ形になるようですが、「宝塚」「劇団四季」などの『演劇ホール』としての価値を残せる民間に委託する可能性は全くなかったのでしょうか。	【その他のご質問への回答】 令和 6 年に実施したサウンディング型市場調査では、4 事業者から複数の事業提案をいただきましたが、当該調査は民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことを目的としており、当該調査結果をもって、民間事業者を選定するものではありません。また、劇場を運営する民間事業者等にもヒアリングを行いました。採算が取れる事業提案ができないとの回答をいただいています。
21	第3章 事業の実施方針	駐輪場の増設、駐車場サービスの改善。（カフェ等が入る場合、確実に現在の駐輪場だけではキャパが少な過ぎる）	【その他のご質問への回答】 民間事業者の提案を審査する際、必要に応じて駐輪場・駐車場サービスの考え方についても確認する予定です。
22	第3章 事業の実施方針	有岡城跡公園を民間に貸し出すことで生じる公園への入場規制がある場合は反対。（一般市民が公園へ立ち入れない等が起きるのは断固反対）	【その他のご質問への回答】 現時点において、有岡城跡公園を恒常的に民間事業者へ貸し付けることは想定しておりません。ご意見を参考にしながら、事業者公募条件について今後検討していきます。
23	第3章 事業の実施方針	新店舗は全てアリオ名店会へ加入する事を希望します。（連携を取る為に必要だと考えます）	【その他のご質問への回答】 アリオ名店会への加入については、運営事業者による判断になると考えています。
24	第3章 事業の実施方針	JR伊丹駅周辺における新たな用途として活用することにより、中心市街地エリアへの来街者数の増加を見込んでいるということは、伊丹以外のお客さんを見込んでいるのか。	【その他のご質問への回答】 来街者とは中心市街地を訪れる人のことを指しており、市内外の方を見込んでいます。
25	その他	2 頁 以下取組を提案されてます D 社を推奨します。	【その他のご質問への回答】 市ホームページに掲載している「伊丹市立演劇ホールを活用した事業提案に関するサウンディング型市場調査の

	・災害時は地域交流スペースを避難スペースとして提供し、避難者へ飲用水を提供 ・地域交流スペースの設置に伴うコミュニティ作り (理由) 湊町自治会はコミュニティセンター集約化により、活動の場が遠方となるためアイホールのカルチャールームも利用しております。コミュニティスペースや避難所としての活用を提案されているD社カフェ事業を推奨します。また、他社においても同様のスペースを要望します。	結果概要について」を確認してご意見いただいているものと推察します。演劇ホール跡の活用については、民間事業者による独立採算を前提とした新たな事業展開を想定しています。民間事業者による駅前地域の持続的な発展への寄与についても公募の要件とすることを検討中です。
--	--	--

2) 実施方針案の検討経緯

	ご意見の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
26	第3章 事業の実施方針	演劇ホールの廃止理由に、解体が困難な構造、年間6000万円の指定管理料、利用状況などを上げている。しかし、演劇ホールのイベントホールは3階までの吹き抜けであり、他はそれに付属した3階までの100平米程度の部屋という構造であり、アリオ(住居側)の躯体と切断すれば解体は困難とは言えないのではないかと。また、音楽ホールは指定管理料として年間約1億円かかっているが本方針(案)にはこれを示していない。利用者数においても3館の収容規模が異なるので利用者数で比較するならば1座席当たりの利用者数で比較するべきであろう。イベントホール稼働率も舞台仕込みの日数も入れて3館を比較するべきだろう。これら3館比較の指標には演劇ホール廃止を前提とした恣意性を感じる。	【実施方針案のとおり】 演劇ホールは、建物が地下駐車場と一体となって整備されており、その構造上解体が困難です。また、築後37年の建築物であることから、建物としての資産価値を最大限に活かし、利活用を図ることが最善であると考えています。 文化3館それぞれのコストについては、施設の規模や設備が異なることから、委託料総額による比較ではなく、利用者一人あたりコストによる比較を行っています。その結果、演劇ホールについては、コロナ禍前の水準より改善したものの、依然として他の2館と比して割高な状況となっています。 稼働率は、実際に利用された区分数から予約可能な区分数を除して算出しています。文化3館全てにおいて同じ条件で計算しており、どの施設についても稼働率に仕込みやりハーサル期間が含まれています。
27	第3章 事業の実施方針	8～9頁 第3章 事業の実施方針 2 文化会館及び音楽ホールの大規模改修方針 (1)文化会館 について 改修工事内容に関しまして、以下意見(要望)です。 文化会館の1階の北側から北側入口に向かっていくところですが、高低差があ	【実施方針案のとおり】 文化会館及び音楽ホールの大規模改修内容については、施設の利用状況や設備等の老朽化・陳腐化への対策を踏まえ、検討することとしています。いただいたご意見を関係部署に共有するとともに、今後、具体的な改修内容を検討していく際の参考とさせていただきます。なお、大雨による浸水等のおそれがある場合には、事前に入口に土嚢を積む等の対策を講じており、これまで施設内へ

		り、大雨の際、北側入り口に向かって大量の雨水が流れ込まないか、現地付近を時々通った際、気になっております。ゲリラ豪雨の浸入を阻止するような防災機能強化(防水板設置できるようにする、等)も一緒にふくめていただきたくおもいます。	の浸水被害が生じたことはありません。
28	第3章 事業の実施方針	8～9頁 第3章 事業の実施方針 2 文化会館及び音楽ホールの大規模改修方針 (1)文化会館 について 改修工事内容に関しまして、以下意見(要望)です。 特定天井対策工事において、 ・耐震天井下地+ボード貼り による方法が一般的な方法かと思いますが、エントランスホールは、残響時間など音響性能まではこだわらなくても使用上支障は生じないと思いますので、「幕天井など軽量化する」「ボード仕上げではなく、天井下地を塗装したうえで木質系のルーバーで仕上げ軽量化図る」など、天井仕上げ材の軽量化、もしくは貼らないことにより、万が一、仕上げ材が落下しても、できるだけ安全であるような方法も比較検討をしたうえで、工法を選んでいただきたく思います。 今後、外注委託で設計を進められると思いますが、設計者に任せきらず、必ず比較検討をするようお願いいたします。	【実施方針案のとおり】 特定天井対策工事の工法については、利用者の安全確保を第一に、特定天井に該当する場所に求められる機能やメンテナンス性など様々な観点から総合的に検討を行い、最適な工法を選択します。
29	第4章 今後のスケジュール	図表12で改修工事スケジュールをあげているが、これにかかる工事費が示されていない。3 館の改修工事費を提示して2 館存続が妥当かどうかの判断材料を市民に提示するべきではないか。	【実施方針案のとおり】 文化3館の具体的な改修費用は、今後予定する実施設計を経て決定します。これまでの検討結果を踏まえて総合的に判断し、演劇事業の機能を文化会館へ移転するとともに、演劇ホール跡については、新たな行政施設として活用するのではなく、建物の貸付により財政負担の軽減を図りながら、伊丹の玄関口である JR 伊丹駅周辺の都市の魅力創出や活性化に資する事業運営を民間活力によって行うことが最善であると考えています。
30	第2章 現状と課題	伊丹文化会館、音楽ホールは使い勝手がよくなるように小規模な改修工事を繰り返し集客をしているが、稼働率は戻っていない。一方演劇ホールはなにも手を	【その他のご質問への回答】 文化会館と音楽ホールだけでなく、演劇ホールにつきましても経年劣化した設備等に対して、適宜修繕工事を行ってきました。これらの修繕工事は、集客の増加を目的とし

		加えられないまま利用者数は回復しているように見えるがどのようにお考えか？ また、演劇ホールはその特性上、練習や劇を変えるときにはそれなりの日数がいえると思う。同じ稼働率の計算ではズレが発生するが稼働率の根拠は？	たものではなく、利用者の安全性の確保及び機能回復を目的とするものです。修繕工事と稼働率や利用者数に直接的な関連があるとは考えておりません。稼働率は、実際に利用された区分数から予約可能な区分数を除して算出しています。文化 3 館全てにおいて同じ条件で計算しており、どの施設についても練習を含む仕込み期間は稼働率に含まれています。
31	第2章 現状と課題	利用率について、それぞれ目標は設定していないのか？ その目標に対してどのくらい達成していないか伺いたい。	【その他のご質問への回答】 文化3館の稼働率について、施設ごとの目標は設定しておりません。実施方針案の策定にあたっては、文化 3 館で経年比較を行っています。
32	第2章 現状と課題	それぞれ、伊丹市外の利用者はどのくらい？市内の利用者数、市外からの利用者数の目標、達成率を教えてください。市外からの外貨獲得の貢献度を知りたい。	【その他のご質問への回答】 各施設が利用者を対象に実施しているアンケートによれば、令和 5 年度の市外の割合は、文化会館が約 40%、音楽ホールが約 47%、演劇ホールが約 57%となっています。利用者数の目標値は、毎年度公表している「指定管理施設管理運営状況報告書」のとおりですが、市内・市外に分けた目標値は設定しておりません。また、「市外からの外貨獲得」につきまして、市外からの利用者が周辺の店舗等を利用した際に支出する金額や人数を具体的に把握しているものではありませんが、対象公演で配布されるクーポンを協力店舗で提示すると特典サービスを受けられる「鑑賞 de 寄っく！itami」のクーポン利用者に対するアンケートによれば、令和 5 年度は文化会館の対象公演が約44%、音楽ホールが約10%、演劇ホールが約9%となっています。
33	第2章 現状と課題	音楽ホールは学校園の行事や市民の文化芸術活動の発表会などハレの場としても親しまれているのであれば、演劇ホールも中高生のハレの場ではないのか？	【その他のご質問への回答】 いわゆる「劇場」での体験は、非日常感を演出するだけではなく、市民生活の節目を彩るものであり、ハレの場としても重要です。演劇ホールにおいて平成 8 年から続く、市内中学・高校演劇部による演劇の祭典「アイフェス!!」は「中高生のハレの場」とであると認識しています。同事業は、世代を担う子どもたちが、専門の機材を実際に使用しながら専門のスタッフの指導を受けることができる、貴重かつ有意義な機会となっています。単なる作品発表の場以上の経験をすることは、子どもたちの文化芸術体験を確保する観点からも重要であることから、今後も実施場所や実施形態について検討し、事業を継続します。
34	第2章 現状と課題	「演劇ホールのキャパシティが十分に活用されていない」とある。どことなを比べて活用されていないとなるのか？	【その他のご質問への回答】 文化3館の再配置にあたっては、中心市街地に立地する文化 3 館を個々の単位ではなくエリアとして捉え、検討を進めてきました。各施設が有するホールの席数を勘案すると、中心市街地には大きく大ホール(文化会館/大ホ

			ール 1,202 席)、中ホール(音楽ホール/メインホール 502 席)、小ホール(演劇ホール/イベントホール最大 300 席)と、大・中・小 3 つの規模のホールが存在しています。そのような中、これら大・中・小のホールの稼働率を比較したところ、小ホール(演劇ホール)が大ホール(文化会館)と中ホール(音楽ホール)に対して低い水準であり、そのキャパシティが十分に活用できていないとの判断に至りました。
35	第3章 事業の実施方針	伊丹文化会館、音楽ホールの改修費はいくらか？演劇ホールの改修費はいくらか？	【その他のご質問への回答】 各館共に一般的な建築・電気・機械等の改修が必要です。文化会館については特定天井対策工事や演劇公演でも活用できる空間の整備等、音楽ホールについては特定天井対策工事やメインホールにおける音響対応等がそれぞれ必要になると考えています。なお、文化3館の具体的な改修費用は、今後予定する実施設計を経て決定します。

3) 今後の演劇事業の展開

	ご意見の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
36	第3章 事業の実施方針	10 頁で文化・スポーツ振興財団には「これまで演劇ホールで培ってきたノウハウと経験」があるとする。一方で、演劇ホールには「これ以上の改善は見込め」ないので廃止するとある(8 頁)。これは同財団にはノウハウと経験がありながら事業発展に失敗したということの意味するのか。何をもって改善が見込めない、と判断するのか。また、そのように判断しながらなぜ演劇業務を継続委託するというのか(10 頁)。この説明には矛盾があるのではないか。	【実施方針案のとおり】 演劇ホールはこれまで、専門的かつ個性的な事業を展開し、平成 16 年に JAFRA アワード総務大臣賞を受賞するなど、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに大いに貢献してきました。これらの実績は、指定管理者として公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団が中心となって積み上げてきたものであり、同財団にはその過程で培ったノウハウと経験が蓄積されているものと考えています。 他方、本市における公共施設を取り巻く課題への対応として平成 28 年に策定した「伊丹市公共施設再配置基本計画」に基づき、中心市街地に立地する文化 3 館については個々の単位ではなくエリアとして捉え、検討を進めてきました。演劇ホールについては、明らかになった諸課題に対応すべく、令和 4 年度から経営改善策を講じ、新規の公演プランを設けるなど利用促進に向けた取組を進めてきました。しかしながら、利用者数・稼働率等の利用状況については、依然として文化 3 館の中で低い水準となっていることから、現在の運営形態ではこれ以上の改善が見込めないと判断いたしました。 演劇は文化芸術の社会的価値としての“共感”や“対話”の創出に親和性が高く、先般策定しました「伊丹市文化振興ビジョン」の推進にあたっても必要不可欠なもので

			あることから、今後も「演劇事業」を継続していく方針です。演劇ホールの廃止は、今日的ニーズの観点から総合的に検討を行った上での判断であり、これまでの演劇ホールにおける取組を否定するものではありません。
37	第3章 事業の実施方針	移転しても今の演劇の質が保てますか。 今の演劇ホールは設備が素晴らしく、それ故、全国から多才な演劇人が集まり、伊丹市に居ながら質の高い演劇を鑑賞する機会が得られました。文化会館に移転してもその質は保てますでしょうか。	【実施方針案のとおり】 演劇ホールのイベントホールは、高さ 11.5m・面積 357㎡で最大 300 席の規模を有し、床が 35 に分割され昇降可能であることから舞台と客席を自由に配置できることが他にない特徴となっています。文化会館の大規模改修においては、演劇公演でも活用できる空間や、演劇やダンスといった舞台芸術を含む多様な文化芸術の創作の場となる空間等を整備して演劇事業の機能を移転する方針としています。具体的な整備内容は今後検討していきますが、演劇ホールと同規模・同等設備のホールを文化会館に整備することは困難です。文化芸術の社会的価値としての“共感”や“対話”の創出に親和性が高く、場所や形態の自由度が高い文化芸術である演劇については、市民により親しんでいただけるよう、鑑賞機会の提供だけでなく、活動機会の充実にも取り組むなど、新たな形で事業を展開し、事業としての質の向上を目指していきます。

4) その他 ご意見

	ご意見の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方
38	第3章 事業の実施方針	今後の運営方針に関して、これまで以上に市民の意見を反映できるよう、運営組織の中に市民の声をとり入れる仕組みを常設してほしい。	【実施方針案のとおり】 8 頁「第 3 章 事業の実施方針」に関するご意見と推察します。演劇ホール跡については、運営を担う民間事業者を今後公募により選定することを想定しています。審査員として公募市民委員に参画いただくことを予定しており、市民目線による意見を踏まえ、事業者選定を進めたいと考えています。 また、各施設においては、毎年度指定管理者が利用者アンケートを実施し、いただいたご意見を参考にしながら施設運営に活かしています。引き続き市民を含む利用者の声に耳を傾けながら、より良い施設運営に努めます。
39	第3章 事業の実施方針	さよならアイホール オープニングアクトの『寿歌』(1988)、大野一雄の『アルヘンチーナ頌』『死海』(1990)あたりからアイホールには足を運んでいるので、開館以来かれこれ三十数年のお付き合いになるんですね。特に、2003 年 3 月に扇町ミュージアム	【実施方針案のとおり】 「演劇・ダンスの専門ホール」としての役割を担ってきた演劇ホールを廃止した後も演劇事業は継続し、文化会館の大規模改修においては、演劇公演でも活用できる空間や、演劇やダンスといった舞台芸術を含む多様な文化芸術の創作の場となる空間等を整備して演劇事業の機能を移転する方針としています。また、これまで演劇ホール

	スクエア(OMS)が閉館してからは、アイホールがすっかり関西小劇場演劇のメッカとなり、宝塚に住む私が伊丹に通うことがめっきりと増えたのでした。 青年団、燐光群、プロジェクトナビ、花組芝居、ブリキの自発団などなど、全国各地の錚々たる劇団が関西公演の会場としてこのホールを選んできたのは、アイホールの歴代プロデューサー、ディレクターが、しっかりとしたコンセプトを持って自主企画を組んできたからなのだと思います。 『プレイ！』という、子ども向けにしてはやたらと尖がった、音と造形とダンスのワークショップもとても面白かったですね。岩下徹さん(山海塾)のフリーダンスの周りを大勢の子どもたちが取り巻き大興奮で走り回っていた様子は今でもはっきり記憶に残っています。そのときに作ったヒトガタを持って帰ったんですけど、それが今でもウチの玄関に飾られていますよ。 このサイズの公共ホールで、企画スタッフに外部の専門家を据えて自主事業をつづけるのは稀有なことなのですが、そんなことを易々とやってのけてしまう伊丹というまちは何と文化度の高いまちなんだろうと、いささか羨望に近いまなざしで眺めていた次第です。 専門スタッフが牽引するアイホールの自由度の高い活動は、ホール内にとどまらず、他の施設の事業にも好影響を及ぼしてきたのではないのでしょうか。『伊丹オトラク』『鳴く虫と郷町』といったような、地域と公共とアーティストが互いに連携しまちを盛り上げる活動がすっかりまちに根を下ろしていることは素晴らしいことなのですが、その成功の背景には、アイホール(だけではないにせよ)が、地域や行政からすれば異質と思える演劇人たちとの交流の中で培ってきたコミュニケーションのノウハウが大いに生かされているように感じます。	で培ってきたノウハウと経験には、さまざまな形で施設に関わっていただいた方々との”つながり”も含まれており、未来へ継承すべき財産と捉えています。これらの場所やつながりを大切に、演劇関係者に限らず多様な文化芸術にかかわる方々の出会いや対話の場の創出を目指します。
--	--	--

		隣町に住んでいながら以前は伊丹を訪れたことがなかった私ですが、アイホールができてからはちよくちよくホールを訪れるようになりました。そうこうするうちに、行きつけのお店や知り合いも増え、すっかり伊丹になじんできました。大阪の劇場では、なかなかそういう感じにはなりにくいのですが、伊丹はいい具合にコンパクトなまちなので、近い関係になりやすいのでしょう。はやりの言葉では「関係人口」とか「交流人口」というのでしょうかね。アイホールの発信力(魅力)が外部から人を引き寄せる。そんな力を持った貴重なホールだったのだと思います。 なので、3 年前にアイホール閉館方針が表明されたとき、その理由として「市民利用が少ない」が筆頭に挙げられていたのを知って、我々市外の者が利用していたことがアイホールにとってよくなかったのだと言われたようで寂しい思いをしたのでした。 もちろん、少子高齢化、人口減少が著しいスピードで進展しつつある我が国において、公共施設の再配置が地域経営における最重要課題のひとつであることは重々承知しています。なので、公立文化施設がかなり充実している伊丹市にとって、その減量化が避けては通れない問題であることもよく分かります。そのような中で、3 年前の閉館方針表明から一定の猶予期間を設けたうえ(既定路線とはいえ)、今回の「文化 3 館再配置事業実施方針(案)」が示されたことは、賛成とは言えませんがやむを得ないものなのでしょう。 アイホール閉館後は、文化会館及び音楽ホールにおいて演劇事業を継続するそうですね。それが上手くいけばよいのですが、核となる専用ホールが無くなったあとも、多くの演劇関係者が交流し新たなクリエイションが行われる環境が維持できるのでしょうか。演劇・ダンスとい	
--	--	---	--

		った舞台芸術は場所にとらわれることなく柔軟な事業展開が可能だとは言え、舞台芸術を創造する「人」の意志を欠いてはそれも叶わぬことになりはしないでしょうか。 心配を言い出せばきりがありませんが、「これまで演劇ホールで培ってきたノウハウと経験を活かして演劇事業を継続する」との言葉に望みを託し、『劇場都市』伊丹の文化度の高さに期待を込めながらひとまずアイホールとのお別れをする時が近づいているようです。	
40	第3章 事業の実施方針	伊丹の玄関口と考えているということは、今後伊丹駅前的大幅な見直し計画も考えているのか？	【その他のご質問への回答】 従来演劇ホールが位置する JR 伊丹駅周辺は、伊丹の玄関口として整備されてきた歴史があり、これまでのまちづくりの考え方も踏まえ演劇ホール跡の活用を検討していくという趣旨です。現時点において JR 伊丹駅前における一体的な整備は検討しておりません。
41	その他	伊丹市は JR 伊丹駅前についてどのようなビジョンをお持ちでしょうか。 2 年前、有岡城跡に新しく公衆トイレを作る計画の話合いの時にも、ずっと訴えてきましたが、市の担当者の返事は「それぞれの担当がバラバラに事業を行っているので全体的な視点で見ることにはできない」とのこと。私たちはまず、基本的な駅前のあるべき姿、こういう場所であってほしいというビジョンを共有して、それをもとに具体的な事業を実施するというのが本来の姿ではないかと考えています。突然公衆トイレを作る話が出てきたり、文化活動の場としてきた演劇ホールの跡地にただ「にぎわいの創出」という条件で民間事業者任せるといったやり方は、どうしても場当たりの感が拭えないのです。 今のタクシー乗り場がものすごく不便なのでもう少し住民が乗りやすくしてほしい、駅前全体のトータルコーディネートの中で考えてほしいと何度もお願いしましたが、それはそのまま放置され続けています。	【その他のご質問への回答】 JR 伊丹駅周辺は、市街地再開発事業で整備された施設や城跡広場がある駅西地区と、大規模商業施設が立地する駅東地区との連携により、緑豊かでゆとりのある中心市街地の東の玄関口にふさわしい大規模商業拠点として、都市づくりを進めております。 駅前周辺のさまざまな業種の事業活動や地域住民によるまちづくり活動、そして来街者との相乗的な関わりにより、都市の魅力創出や活性化につながると考えており、中長期的な視点をもって駅前地域の持続的な発展を目指します。